



ブルネイ・ダルサラーム大学

Universiti Brunei Darussalam



●学部学生 約3,000人 ●大学院生 約770人 ●教員 約470人 ●留学生 約370人

ホームページ <http://www.ubd.edu.bn/>

交流協定締結年月日：2009年11月8日 主管学部：医学部



国際交流の特色

ブルネイ・ダルサラーム大学（UBD）は、1985年に設立された総合大学である。学位取得コースは、国民及び外国人に開かれていて、政府による奨学金制度（教科書や交通機関及び宿泊費）が、ブルネイ国民に授与されている。1989年に最初の卒業生を送り出し、現在のツング・リンクのキャンパスは、1995年9月に正式にオープンした。医学部では英語での、Problem Based Learning（PBL）を主体としたチュートリアル中心の基礎教育を3年間行い、その後3-4年は英国、カナダ、オーストラリアの各大学医学部に編入し、臨床教育を受けて医師免許を取得する。2009年には大学間協定が結ばれ、さらに医学部とブルネイ国保健省との国際協力協定が結ばれた。特に医学部では、本学医学部との双方向性の学生交流が積極的に行われ、実績が積まれている。

交流実績（令和4年度～令和6年度）

	R4	R5	R6
学生の受入	6	14	26
学生の派遣	4	7	15
研究者・職員の受入	0	4	17
研究者・職員の派遣	0	0	6
オンライン交流参加者（本学）	26	13	0
オンライン交流参加者（相手機関）	62	11	0



教員からの声

ブルネイ国はアジアでも最も英語能力が優れ、治安が良く、政治的、経済的にも安定したイスラム教王国です。UBD医学部では英国式医学教育としてProblem-Based Learningを実施しており、国際的な視野を持った医師の教育で顕著な効果を挙げています。2006年から医学部間で協定を結び、さらに全学協定に発展しました。UBDにおける夏季医学教育コースや課題実習、香川大学における冬季医学セミナーやディスカバリーイヤープログラム等を介した相互派遣等、将来アジアで活躍するリーダーの育成にともに取り組んでいます。コロナ禍で人的な相互交流は一時停滞せざるを得なくなりました。令和4年度からは中期の研究インターンシップによる相互交流が開始されています。さらに2023年10月にUBDの学長先生を香川大学にお迎えし、2024年7月と12月には双方の大学で交流20周年記念が開催されました。コロナ禍前と同様の交流事業が再開されつつあり、人的交流もさらに深化してきております。

医学部附属病院 准教授 安田真之

学生からの声

医学科3年後期で行われる医科学研究の一環で、Universiti Brunei Darussalam(UBD)に滞在させていただきました。研究において、私はハーブに関する研究室に所属し、*Rhodomirtus tomentosa*という植物の葉に含まれる抗酸化物質の活性について研究することになりました。UBDの先生方や大学院生の方々には、研究の進め方や手技に関して多くの助言やご指導をいただき、無事に研究を終えることができました。

さらに、研究室の方のご厚意で、ブルネイで一般的に使用されている薬草をマウスに経口投与し、炎症の抑制効果を分析する動物実験の見学にも参加させていただきました。この約一か月間で研究やアクティビティ、National Day、現地での食事、ラマダンなど、貴重な体験をすることができ、研究と研究以外の時間の両方で非常に充実した時間を過ごしました。これもひとえに、UBDの学生や先生方をはじめ、温かく迎えてくださったブルネイの皆さま、そして本留学プログラムに携わってくださったすべての方々のお陰です。本当にありがとうございました。

令和6年度医学科3年 深澤 莉生